

TOTO

ロータンク金具

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

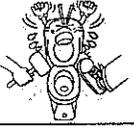
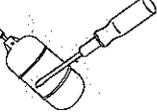
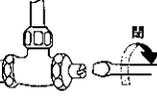
1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

表示	意味
 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	<p>禁止</p> <p>強い力や衝撃を与えないでください。 陶器が破損してケガをしたり、水漏れによる家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>分解禁止</p> <p>修理技術者以外の方は、金具本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。</p> 
	<p>必ず実行</p> <p>フィルターの掃除をする際は、いきなりフィルターをゆるめず、止水栓を閉めてから行ってください。 水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
	<p>設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用してください。 故障や水漏れの原因になります。</p>

2 仕様

給水圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		40℃以下
使用可能水質		水道水および井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途		一般住宅トイレ用

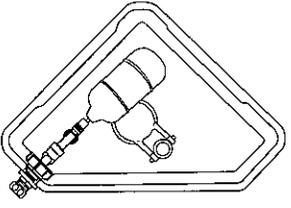
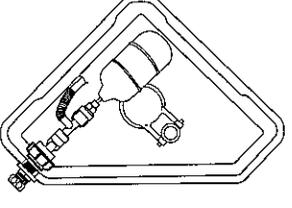
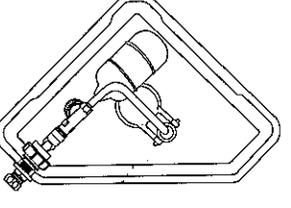
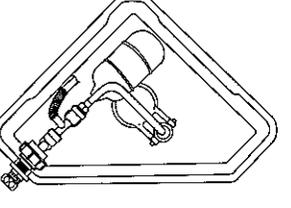
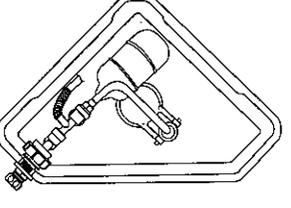
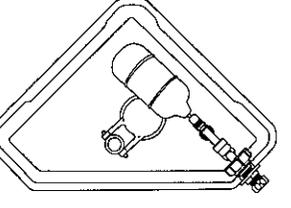
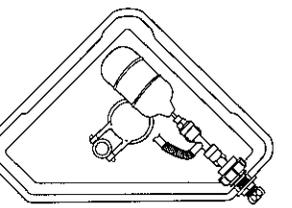
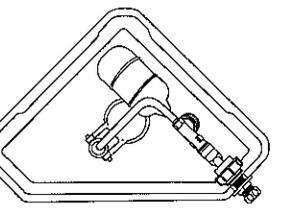
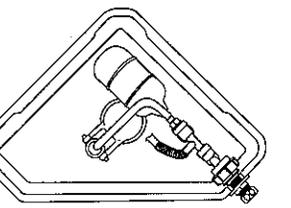
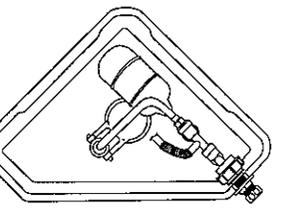
3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。快適にお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。

4

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

タンクの品番		防露付き S 570BF. S 570BKS	防露付き S 670B. S 670BF	防露付き S 534B	防露付き S 535B	防露付き S 536B
取付完了図	防露なし S 570 S. S 570 FS	防露なし S 670 S. S 670 FS				
	図は防露付きを示す。		図は防露付きを示す。			
ボールタップと排水弁の取り合い	左給水					
	右給水					

4-2

完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

タンクの品番		防露付き S 513BKS	手洗い付き S 517B. S 517BR	防露付き S 520B	S 31
取付完了図			手洗なし S 516S. S 516B. 図は手洗い付きを示す。 	防露なし S 151. S 523 図は防露付きを示す。 	
	ボールタップと排水弁の取り合い	左給水 	右給水 	左給水 	右給水

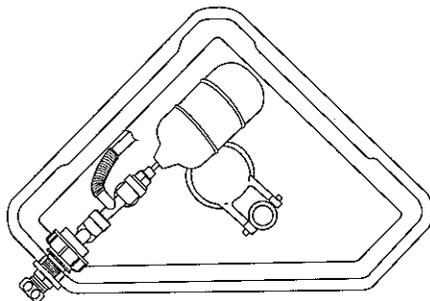
5-1

施工手順

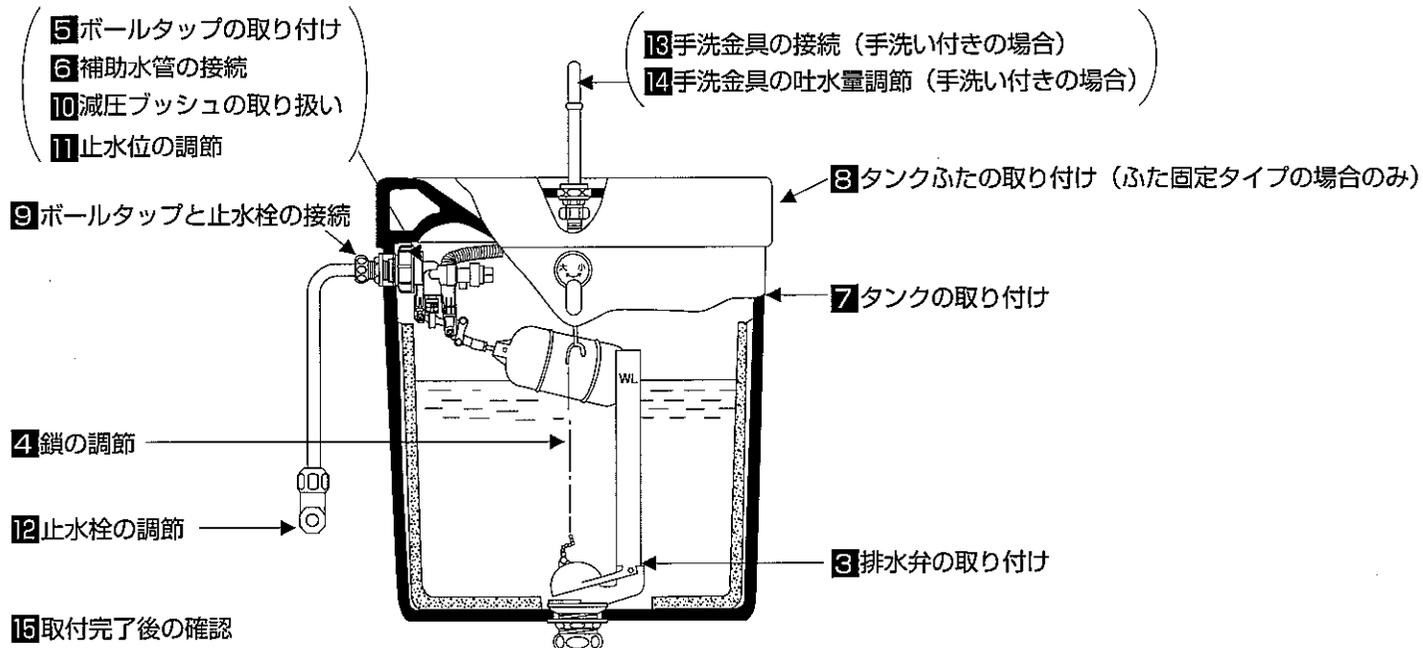
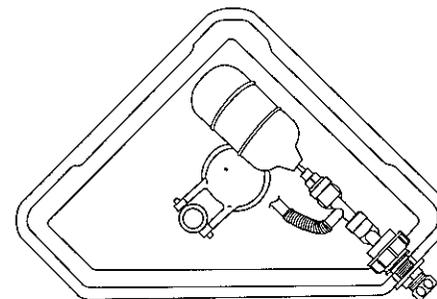
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

左給水の場合

- 1 給水管内の掃除
- 2 取付ボルトの取り付け



右給水の場合



5-2 施工手順

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

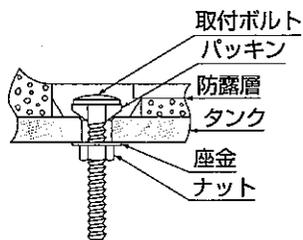
1 給水管内の掃除

取り付ける前に **必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

重要

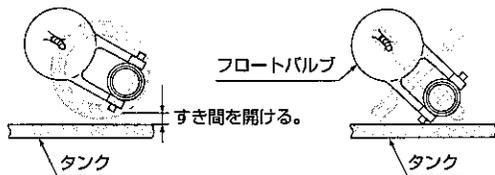
2 取付ボルトの取り付け

①背の低い方のナットを使用して強固に締め付けてください。



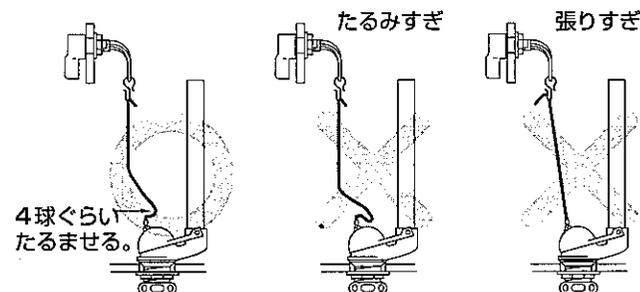
3 排水弁の取り付け

①フロートバルブの着脱ができるようすき間を確保してください。
ボールタップと排水弁の取合いは完成図 ④⑤を参照してください。



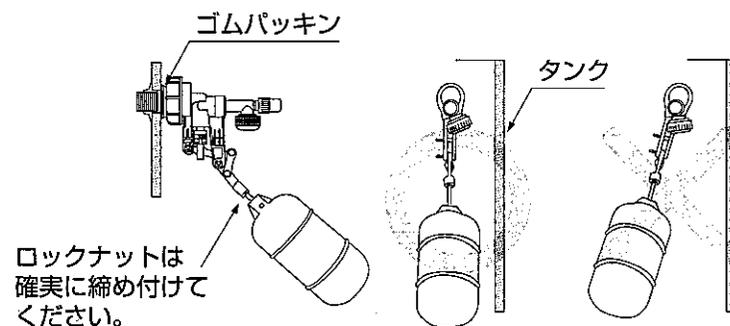
- ・左給水と右給水の場合とは取付方向が違います。
- ・オーバーフロー管が、ボールタップと反対側になるよう取り付けてください。
- ・タンク防露層下面部は切り取らないでください。

4 鎖の調節



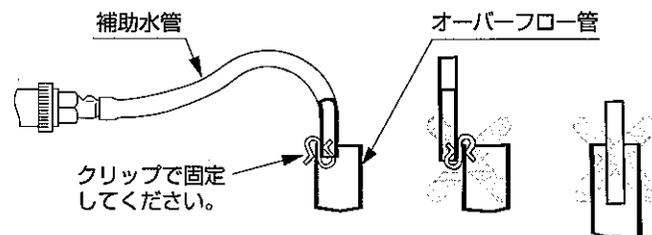
5 ボールタップの取り付け

①浮玉が真下に降りるように正しく取り付けてください。



6 補助水管の接続(補助水付きの場合)

①補助水管は、確実に差し込んでください。
補助水管は絶対に切らないで取り付け、つぶれたり、折れたりしないようご注意ください。



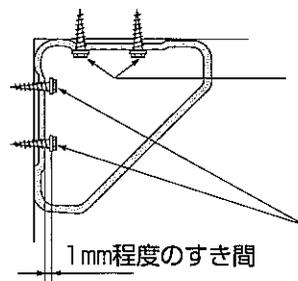
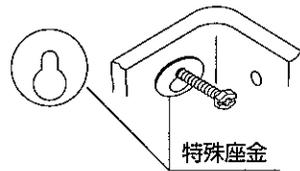
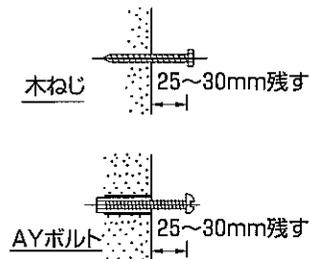
7 タンクの取り付け

7-1. パッキンなしの場合

- ①タンク穴に合わせて木ねじ・AYボルト位置をけがいでください。
- ②中央側の木ねじ・AYボルト1本を先にねじ込み、タンクを引掛けてから木ねじ・AYボルトをねじ込んでください。

(1) 中央側の1本をねじ込む。

(2) タンクを引掛けて特殊座金をセットし、木ねじ・AYボルトをねじ込む。



木ねじ・AYボルトを強く締め付け過ぎるとタンクが割れることがあります。木ねじ・AYボルトの頭が当たった時点で締め付けを止めてください。

隅付ロータンクの場合は片面の2本を1mm程度すかせてください。

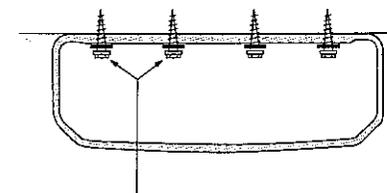
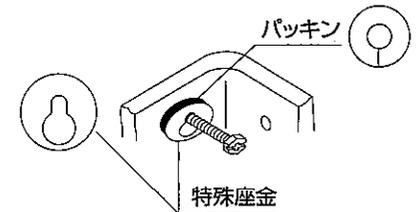
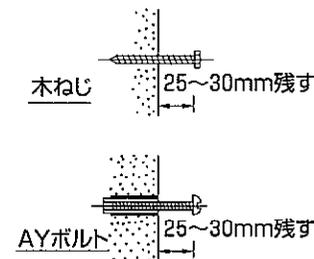
7 タンクの取り付け

7-2. パッキンありの場合

- ①タンク穴に合わせて木ねじ・AYボルト位置をけがいでください。
- ②中央側の木ねじ・AYボルト1本を先にねじ込み、タンクを引掛けてから木ねじ・AYボルトをねじ込んでください。

(1) 中央側の1本をねじ込む。

(2) タンクを引掛けてパッキン・特殊座金をセットし、木ねじ・AYボルトをねじ込む。



木ねじ・AYボルトを強く締め付け過ぎるとタンクが割れることがあります。木ねじ・AYボルトの頭が当たった時点で締め付けを止めてください。

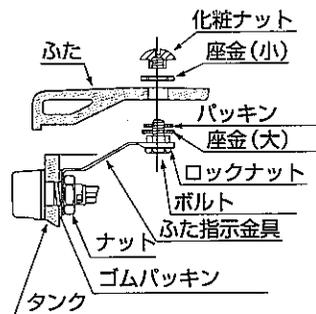
5-3 施工手順

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

8 タンクふたの取り付け（ふた固定タイプの場合のみ）

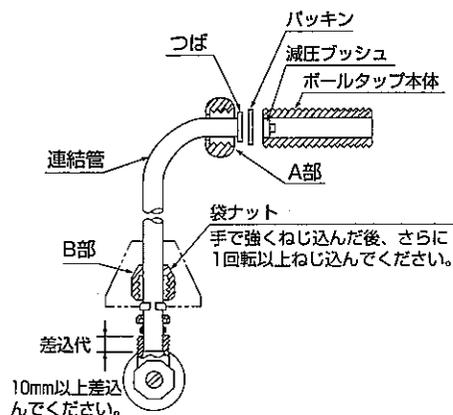
- ①ふた支持金具をゴムパッキンとナットの間に置いて図の向きになるように固定してください。
- ②ふた支持金具にボルトをロックナットで固定する。この時ふたの穴にボルトが入るように位置合わせをしてください。
- ③座金、パッキンをロックナットの上に乗せてからタンクのふたをボルトに通し化粧ナットで締め付ける。

※水位等の調節後に行ってください。



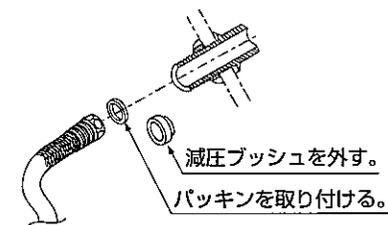
9 ボールタップと止水栓の接続

- ①A部を先に固定した後、B部を固定してください。
- ②テーパリング・パッキンガイド・パッキンは、確実に止水栓に当たるまで押し下げてから袋ナットをねじ込むようにしてください。



10 減圧ブッシュの取り扱い

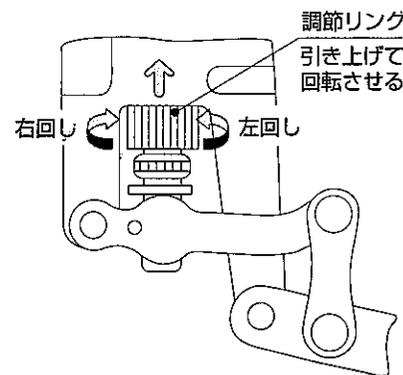
- ①水圧が低く（0.1MPa以下）タンク貯水に時間がかかり過ぎる場合は減圧ブッシュを外してセットしてください。



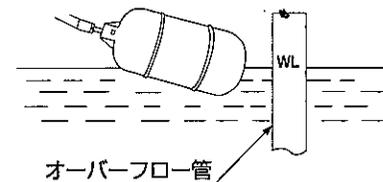
11 止水位の調節

タンクの止水位がオーバーフロー管のWL（標準水位）に合うように、次の要領で調節してください。

- ①調節リングを引き上げて回すと止水位を上下させることができます。その時、浮玉を軽く手で押さえておくとスムーズに回ります。
 - ・上方より見て右回し…止水位が上がります。
 - ・上方より見て左回し…止水位が下がります。
- ②調節が終わったら調節リングを引き下げて確実にロックしてください。



※洗浄不良防止のため、止水位は確実に合わせてください。

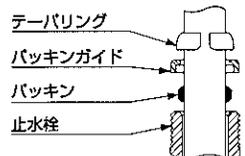


注意



必ず実行

テーパリング・パッキンガイド
パッキンの順番・向きを間違えないでください。



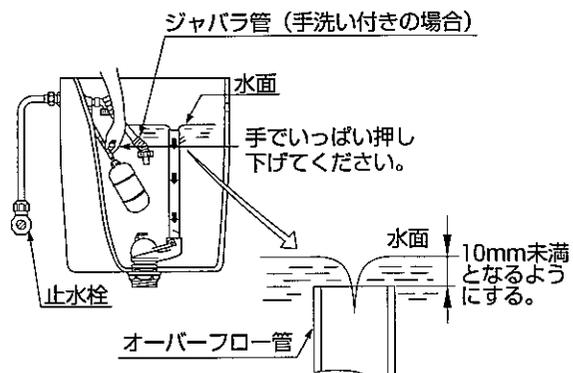
5-4

施工手順

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

12 止水栓の調節

- ①浮玉を押し下げて、止水栓を徐々に開いてください。
この状態で水面がオーバーフロー管より10mm以上上昇しない程度に止水栓の開きを調節してください。この調節をしておけば、万一ボールタップが故障しても、タンクの水が外にあふれることはありませんし、給水音も低くなります。



15 取り付け完了後の確認

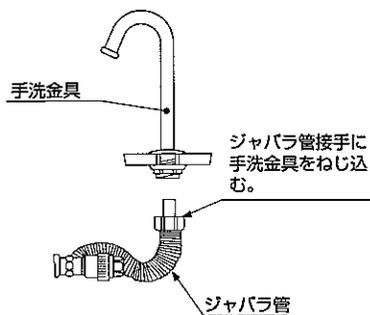
取り付け完了後は2～3度操作して正常に作動するか確認してください。
なお冬期間の凍結防止方法については取扱説明書を参照ください。

※製品によっては、説明書の絵と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。

13 手洗金具の接続 (手洗い付きの場合)



14 手洗金具の吐水量調節 (水抜きの場合)

- ①調節金具をドライバーなどで回し、手洗金具からの吐水量が適当な水量になるように調節してください。

